

各委員意見集約

1. 施策別の取組状況、分析・評価及び今後の方向性

【目標Ⅰ 自ら学ぶ意欲をもって、主体的に社会に関わり、新しい時代を生きる力を育てる】

基本方針1 新しい社会で生きる力の育成(原案9～15ページ)

No	委員	意見等	担当	回答等
1	大橋 委員長	施策1(2)ICT教育導入により児童生徒の学びが大きく変化しています。ICTの効果的な活用など、更なる授業改善の取り組みを期待します。	指導主事	石狩市においても1人1台端末を効果的に活用した学習活動により、「子どもが主語」の授業改善が進んでいます。ご指摘の通り、その取組がさらに進むよう市教委としまして、各種研修会の充実や石狩市ICT教育プロジェクトチームからの情報発信、市内における優れた授業実践の周知に努めて参ります。
2	高嶋委員	施策1(2):「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善については、指導主事の先生からの指導・助言の重要性はもちろん、各学校内の教員同士による授業研究や交流の活性化も重要になってくると考えました。	指導主事	市内各学校では「主体的・対話的で深い学び」を視点にした校内研究に取り組んでいます。令和5年度になってからは、特に「対話」と「1人1台端末の有効活用」を目指した授業改善が進んでいます。これは学校内外の教員同士の学び合いが活性化した証と捉えております。市教委としましてこのような動向を評価し、学校の取組がさらに進むよう取り組んで参ります。
3	大橋 委員長	施策1(7)家庭学習取り組みの成果はすぐには上がらないが、今後も工夫した取り組みを期待する。	指導主事	従来のプリントやノートを使った家庭学習をさらに充実させるため、令和4年度は1人1台端末にAIDリルを試験的に追加導入しました。学校においては、紙とAIDリルをミックスさせ、児童生徒の家庭学習に向けての意欲化・習慣化、既習事項の定着を図る工夫を積み重ねています。市教委としまして、石狩市内校における好事例の周知をしております。
4	高嶋委員	施策1(7):「家庭学習の時間の長さ」とありますが、それはどの程度のものなのか具体的な数値を示すことは可能でしょうか？途中から成果指標を追加することはできないかもしれませんが、参考値を示すことには意義があるように考えました。	指導主事	【取組の成果等】(7)の記載は令和4年度全国学力・学習状況調査結果をもとに記述しました。その結果では平日1日当たり「1時間以上家で勉強している」小6児童の割合は65.0%で全国より5.6%多く、中3生徒では57.5%で全国より12.0%少ない結果となっていました。また、「2時間以上家で勉強している」小6児童の割合は20.2%で全国より4.9%少なく、中3生徒は24.9%で全国より10.3%少ない結果となっていました。このような数値を次年度以降、お示しする方向で検討します。ちなみに令和5年度の全国学力・学習状況調査では中学校において家庭学習の時間に改善傾向が見られます。
5	大橋 委員長	施策5(3)ICT教育能力向上の取り組みを評価します。今後も研修の充実を期待します。	学校教育課 指導主事	未来社会を生きる児童生徒に必要な資質能力を育むために、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を視点にした「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善が求められています。その学びの実現のためには、1人1台端末をはじめとするICTの活用が不可欠です。市教委としまして、その研修の充実に取り組んで参ります。

No	委員	意見等	担当	回答等
6	高嶋委員	施策5:昨年度の意見として「端末の持ち帰り」に関する事項が挙がりましたが、それに関連した動きはどの程度進んでいるのでしょうか？	学校教育課 教育支援課	(学校教育課) 1人1台端末の貸与に際しては、導入当初から、不適切なサイトへのアクセス等を防止するためのフィルタリングを施すほか、保護者に対し、当該端末は家庭学習用であることを明示するとともに、適切な活用のための指導をお願いしております。 (教育支援課) 子ども達が電子メディアと上手に付き合っていくために、令和5年4月に市教委として、電子メディアの使用に関するリーフレット及びルールづくりシートを作成し、学校から保護者向けの啓発に活用していただくことを依頼しました。併せて市のホームページにも情報を掲載しました。
7	向田 副委員長	新型コロナの影響から解放され、日常と本来の学校生活が再起動されました。子供達の学ぶ意欲や活動欲求もこれから少しずつ取り戻すのではないのでしょうか？ 内にこもらざる負えなかったエネルギーを子供たち自ら、外に向けて自然や科学、或いは外国等に興味を向けられる環境作りをお願いいたします。	指導主事	令和5年度に入り、コロナ禍により制限されていた様々な教育活動が再開されました。国の基準に基づいた感染対策は継続しながらも、児童生徒が主体を發揮し、友達とともに喜びを感じながら活動しいけるよう取り組んで参ります。

基本方針2 学びを支える家庭・地域との連携・協働の推進(原案16～18ページ)

No	委員	意見等	担当	回答等
1	高嶋委員	施策8:家庭学習の習慣化に向けた取り組みが行われていると評価できる一方で、その取り組みが「実績」となって表れているとは言えない(施策1評価(7)「B」、成果指標12中3の減少)ため、取り組みのさらなる工夫が必要になると考えました。	指導主事	基本方針I・施策1(7)でご回答しましたように、従来の家庭学習をさらに充実させるため、令和4年度は1人1台端末にAIDリルを試験的に追加導入しました。学校においては、紙とAIDリルをミックスさせ、児童生徒の家庭学習に向けての意欲化・習慣化、既習事項の定着を図る工夫を積み重ねています。市教委としましても、石狩市内校における好事例の周知をしていきます。
2	大橋 委員長	施策8(4)あい風寺子屋事業による放課後学習支援の取り組みを評価します。	社会教育課	あい風寺子屋事業では、絵本の読み聞かせや合唱指導のほか、様々な体験活動を行っております。今後もこの事業を継続して取り組んでまいります。
3	高嶋委員	施策9:SATでは授業のTTだけではなく放課後の学習支援も行っているのでしょうか？	学校教育課	SATの活動内容は、「教科指導の補助」であり、原則として日中の教育活動における学習支援を想定していますが、放課後の学習支援を行うことを妨げるのではなく、学校やSATの都合・実情を考慮した効果的な活用に努めております。

No	委員	意見等	担当	回答等
4	高嶋委員	施策10:「地域の行事への参加」は、地域からの児童生徒への働きかけはもちろん、教職員の地域活動に対する理解の深化が不可欠であるため、学校と地域の連携・協働によるさらなる取り組みが必要になると考えました。	社会教育課	本市においては、地域の行事に参加する学校もあれば、授業支援や郷土学習、学校の環境整備、登下校の見守りを行うなど、学校によってその取り組みは様々です。それぞれの地域における協働活動の進捗状況に応じて、そのための地域学校協働活動を進めていきます。
5	大橋委員長	施策10(2)CSの取り組みは、それぞれの地域ごとに課題がありますが、地域と学校の双方の取り組みが充実されることを期待します。	総務企画課	今後も各地域の特性や自主性を尊重し、学校運営協議会の運営をサポートしてまいります。
6	向田副委員長	社会的な影響から、子どもたちの環境格差や学校離れが生じている様に感じています。 大人側に余裕を無くしたことで、子どもたちにストレスがかかり小さな体にたくさんの見えない傷を負っていると思いますので、親子と子供・学校と子供という単一的な関係性だけでなく、学校を中心とした地域と子供、全ての大人が地域の子供を育てて行く必要があると感じています。 より一層の学校を核とした子供のための地域づくりをお願いいたします。	社会教育課	子どもたちは地域学校協働活動による多様な人たちとの関わりの中で、地域の人から褒められることで、自己肯定感や学習意欲が高まると考えられます。今後もこの事業の推進に力を入れていきます。

基本方針3 学びをつなぐ学校づくり(原案19~24ページ)

No	委員	意見等	担当	回答等
1	大橋委員長	施策11(1)写真を多く取り入れ、よく工夫された学校ホームページの取り組みを評価します。	学校教育課	学校ホームページは、地域や家庭との連携を深める重要なツールであると考えられることから、今後も学校ごとの特色を生かし、その充実に努めてまいります。
2	高嶋委員	施策14:「取組の成果等」が幼小連携に関連するものが多く挙げられているが、小中連携に関連するものはどのようなものが挙げられるのでしょうか？	指導主事	令和4年度は各校代表者が参加する「小中連携協議会」を2回開催し、石狩市の積年の課題となっていた国語科「読むこと」領域における指導事項の系統表の作成とその活用などを中心に全市的に小中連携教育を一步前進させました。令和3年度まではコロナ禍で活動を制限してきましたが、中学校教員による出前授業、中学校の体験授業、小中間での研究授業の参観など、各中学校区毎の活動も再開されました。
3	向田副委員長	教職員が心身ともに健康的に教育活動が出来るように創意工夫を引き続きお願いいたします。	学校教育課	次年度以降も継続して実施して参ります。

No	委員	意見等	担当	回答等
4	大橋 委員長	施策15(2)学校における働き方の取り組みを評価します。 (今年度の部活動地域移動の状況は、どんな状況でしょうか?)	学校教育課	今後も継続して取り組んで参ります。 部活動地域移行については、現在、一部の部活動指導員を会計年度任用職員として雇用し、教員の負担軽減を図るとともに、昨年末の関係機関との意見交換会と今年6月にアドバイザーとの意見交換会を経て、協議会設立に向けて方針策定等の準備を行っているところです。
5	高嶋委員	施策15:成果指標20について、実績が前年度よりも(若干ではあるが)悪化している点が気になりました。各学校の状況の違いはあると思いますが、働き方改革が進んでいる学校でどのような取り組みや工夫がなされているのかを他の学校にも周知しながら、目標達成はもちろん、さらなる割合低下に向けた動きを進めていく必要があると考えました。	学校教育課	「全国の学校における働き方改革事例集(R5.3月改訂版)」や「北海道の学校における働き方改革手引『Road』」を参考とし、業務改善が図られるよう引き続き周知するとともに、学校現場に課している業務負担の軽減にも努めて参ります。

【目標Ⅱ 思いやりと豊かな心・健やかな体をもって、多様な人々と共に支え合う人を育てる】

基本方針4 健やかな成長を促す取組の推進(原案25～31ページ)

No	委員	意見等	担当	回答等
1	大橋 委員長	施策17(2)道徳科授業の地域住民や保護者への公開を評価します。公開を通して地域住民、保護者、学校との信頼関係が築かれることを期待します。	指導主事	今年度よりコロナ禍による制限がなくなり参観日も計画通り実施できるようになりました。ご指摘の通り、授業参観を通して、道徳はもちろんのこと、学校で取り組んでいる授業改善等の教育活動についても理解していただく機会にしていくよう学校にも働きかけて行きます。
2	向田 副委員長	すこやかで健康な体づくりと同時に、相手の立場になって考えたり、想像できる心の教育をお願いいたします。	指導主事	ご指摘の通り、体育や体力づくりの機会を通しての体づくりの充実はもとより、道徳の時間や特別活動、さらには教科指導における協働的な学びでの相手の立場に立った心の教育を進めてまいります。
3	大橋 委員長	施策18(2)調べる学習コンクールの取り組みを評価します。調べる学習を通して、児童生徒の関心、活動の広がりを期待します。	市民図書館	今後も児童生徒の疑問や調べたい意欲を大切にしながら、興味や関心、活動が広がっていくよう各校及び学校司書と連携しながら進めて参ります。
4	向田 副委員長	今迄以上に、人との交流を活発化させ、いろいろな体験を通して子どもたちのコミュニケーション力や社会性を育てる機会を継続してくださることを期待します。	社会教育課	地域学校協働活動では、様々な形で地域の方が子どもたちとの関わりを持つことにより、子どもたちのコミュニケーション能力や社会性を育てる効果が期待されています。今後もこの事業を継続して取り組んでまいります。

No	委員	意見等	担当	回答等
5	大橋 委員長	施策21(1)(3)いじめ問題行動、「いじめ防止集会」等の取り組みを評価します。児童生徒が「いじめ問題」を常に考え、取り組むことを期待します。	教育支援課	「いじめ防止集会」の取り組みにつきましては、今後も継続し、取り組み状況について市ホームページに掲載し周知いたします。
6	高嶋委員	施策24:成果指標30について、開催数が減少し、目標値から遠ざかっているの で、開催数の増加につながるような取り組みや工夫が必要になると考えまし た。「開催数」としてカウントされるかわかりませんが、昨年度の意見にもある通 り、社会教育主事などの専門職の皆さんが先頭になりながら、学校との連携も 模索していただければと思います。	社会教育課	公民館講座等、今後も、社会教育主事が中心となり、関係機関(学校、市P連 等)と連携し、企画・実施していきます。

【目標Ⅲ ふるさとへの愛着をもち、幅広い視野で新しい価値を創造し、活躍する人を育てる】
基本方針5 学びを活かす地域社会の実現(原案32～34ページ)

No	委員	意見等	担当	回答等
1	向田 副委員長	子供から高齢者まで、多岐にわたるイベントや講習会を展開し、多くの市民が いくつになっても学べる機会をこれからも一層継続して頂きたい。	社会教育課	公民館講座等による生涯学習活動を今後も継続していきます。
2	大橋 委員長	施策26(3)新型コロナウイルス感染対策に配慮した科学の祭典の取り組みを 評価します。	市民図書館	多彩な実験や工作等、科学の魅力を体感できる機会を通じて図書館に賑わい を創出できるよう、アフターコロナを意識しながら次年度以降も継続して取り組 んで参ります。

基本方針6 ふるさとを学ぶ機会の充実(原案35～36ページ)

No	委員	意見等	担当	回答等
1	高嶋委員	施策27:成果指標36について、今年度からは新型コロナに関連する制限も緩和 されつつあるので、開催数の増加につながるような取り組みや工夫が必要にな ると考えました。	文化財課	文化財に親しむ機会やふるさとを学ぶ機会を提供するため、感染防止対策を 講じながら、各種講座等の企画・開催に努めて参ります。

No	委員	意見等	担当	回答等
2	向田 副委員長	歴史ある石狩市の文化・自然をこれからも大切に次の世代へ受け継いで行くようにお願いいたします。	文化財課	今後も石狩市の歴史、文化、自然についての研究活動を継続して参ります。
3	大橋 委員長	施策28(1)～(7)文化・自然遺産の保護、保存、活用の取り組みを評価します。	文化財課	今後も文化財の保護、保存、活用に努めて参ります。
4	大橋 委員長	施策28(8)円形校舎内での石狩市内の小中学校の歴史展示の取り組みを評価します。 その中に、石狩市郷土研究会発刊「石狩市小中高等学校校歌集」の展示、現在の学校、統廃合となった学校の「校歌」を聴くことできる装置の取り組みを期待します。	文化財課	「石狩市小中高等学校校歌集」は既に円形校舎内で展示しております。 また「校歌」の試聴につきましては、その方法等を検討して参ります。